

環境配慮樹脂の御紹介

【会社概要】

多様な技術分野や事業領域を持つトータルエンジニアリングカンパニー

社名	株式会社ティーネットジャパン
設立	1976年4月30日
本社	香川県高松市成合町930-10
東京本社	東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング
資本金	2億6,360万円
売上実績	単体248億円、連結374億円
社員数	単体1,616名、連結2,082名



会社概要：<https://www.tn-japan.co.jp/ja/company/information.html>

脱炭素経営促進ネットワーク窓口：田村 (w-tamura@tn-japan.co.jp)

Copyright© T-NET JAPAN. All rights reserved.

各環境配慮樹脂の特性

一般的な樹脂材は化石資源由来で生分解性が低く 製造工程・及び廃棄時にもCO2が発生しているものがほとんどです。

近年SDGsへの注目の高まりもあり、様々な環境配慮樹脂材が脚光を浴びております。

主な種類としては①バイオマス由来樹脂材②生分解性樹脂材③樹脂再生材。

複合機能をもつものもありますが、生分解性が高いものは物質安定性が低いため耐久性が求められる場所には不向きであったり、二酸化炭素排出が少ないが高価等、特性を理解して適切な材料を選択する必要があります。

特に価格と物質安定性は切替において、非常に重要度が高いポイントであり、脱炭素化貢献の一步目としてバランスのとれた性質を持つ樹脂再生材を紹介します。

	価格	物質安定性	生分解性	二酸化炭素排出
一般樹脂材	◎	◎	×	×
バイオマス由来樹脂材	×	△	○	◎
生分解性樹脂	△	×	◎	○
樹脂再生材	○	○	×	○

取り扱い製品

PCR = Post Consumer Recycled

= 消費者によって使用済みのプラスチックをリサイクルした物質

1. 高グレード樹脂再生材

⇒98%、100%のPCR含有率で材料としてはABS/HIPS/HDPEを取り揃えており、難燃グレードにも対応。

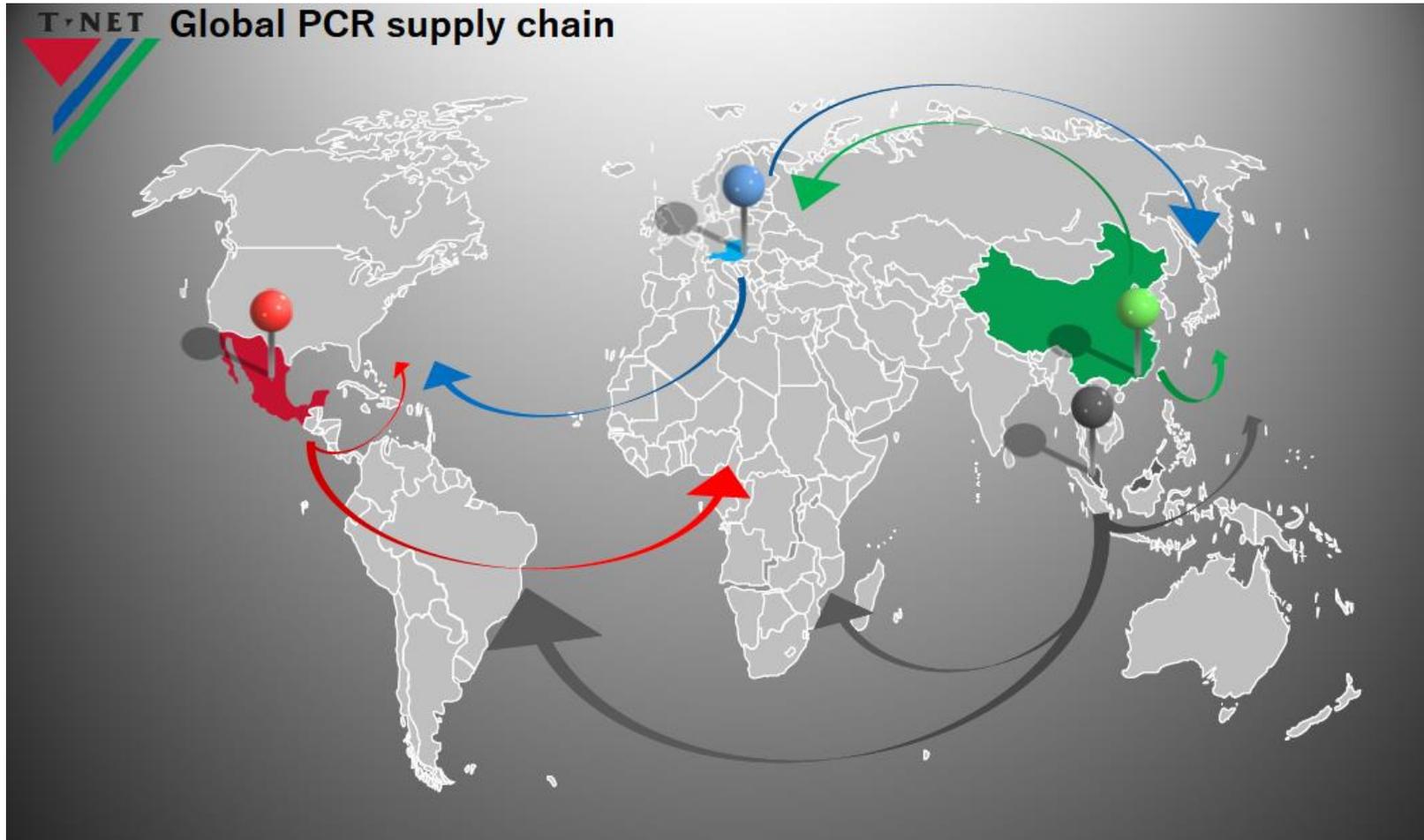
2. OBPシリーズ(Ocean Bound Plastic・海洋廃棄性プラスチック)

⇒近年、海洋廃棄プラスチックの問題は世界中の関心ごとになっており、今後各国の法規制としてOBP含有率を設定される可能性があります。

当社では、PC/ABS代替品としてOBP含有製品に関しても取り扱っております。



サプライチェーン網



当社サプライチェーンは世界各国に有しております。

主要としてはメキシコ、オーストリア、マレーシア、中国となり、日本含め世界各国に供給が可能となります。

会社概要： <https://www.tn-japan.co.jp/ja/company/information.html>

脱炭素経営促進ネットワーク窓口： 田村 (w-tamura@tn-japan.co.jp)

Copyright© T-NET JAPAN. All rights reserved.